

障がい者の地域生活を確かなものに

だれもが自立し社会参加するための方途を考える

「個々に見合った地域生活支援を総合的に実施する」

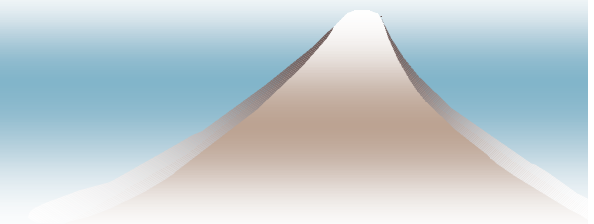
有限会社しえあーど 特定非営利活動法人地域生活を考えよーかい

李 国本 修慈

私たちの活動をご紹介させていただきながら、

自立、社会参加、総合的支援について考えてみたいと思います

なんとなく富士山



私個人について

今年の5月で、生誕44年となるようです

20年程前から、医療だとか福祉だとかという処で働いて(あるいは活動)います
90年代後半から「地域生活支援」などということに興味を持ちはじめました

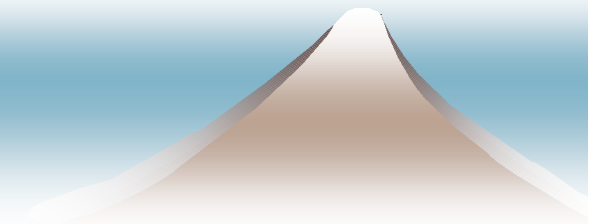
2000年9月に兵庫県尼崎市に「地域共生スペースぷりぱ」設立

2003年4月に同県伊丹市に「有限会社しえあーど」設立

「地域生活を考えよーかい」も法人格(NPO)取得

在日朝鮮(韓国)人3世なので「李(ri、あるいは i)」という文字もつけてます

なんとなくミドルネームのようで気に入っているので…、ハングル語は全くできません
趣味は、陸上競技とマラソンと水中(海中)写真撮影です ビールが大好きです



伊丹市について

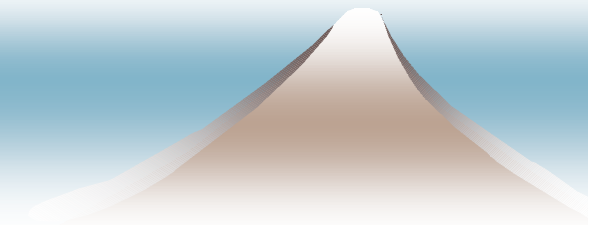
阪神間の北部(福祉圏域では、阪神北)

尼崎の北隣、西宮、宝塚、川西、豊中と隣接

人口195,255人 けっこう(かなり)顔の見える街かと思います

飛行場があって、自衛隊の駐屯地があって、酒蔵があるといった感じ・・・

近年、「地域移行」ということで、知的障害者といわれる方々の「入所施設(中間支援施設と言っています)」を作りました



しえあーど&考えよーかいについて

いわゆる「地域生活支援」の(ような)活動及び事業

2003年4月に事務所一室からスタート

マンション一室及び空き店舗を利用し、「このいけスペース」として活用

一時預かり(日中一時支援事業)

居宅介護(重度訪問・行動援護含む)

短期入所(単独型/あたりまえですが)

ガイドヘルプ(移動支援事業)

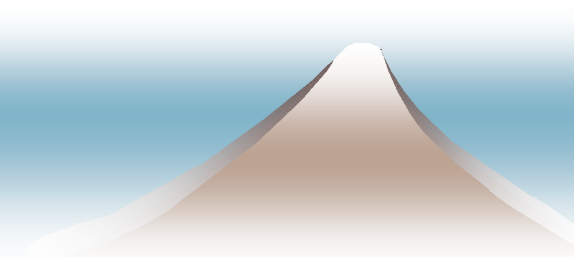
訪問看護ステーション

移送サービス

相談支援

自費サービス(支援)

その他



特徴?

何故か、重症心身障害といわれる方々が圧倒的に多数派です

人工呼吸器といわれるモノを使用されている方が10数名

気管切開などといわれる方も20人くらい

胃婁増設者などと言われる方も30人以上いらっしゃると思います

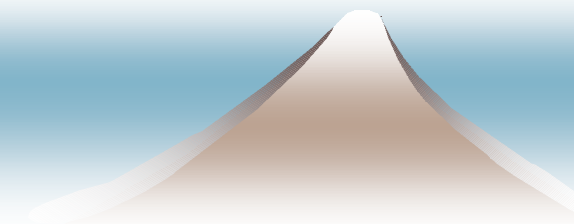
その他、医療的ケアなどと呼ばれる方、多数です

総利用登録者数は170名くらいです(実際に利用されている方は120名くらい?)

…あまり、上のような分け方は好んでませんので正確ではないです

あまりにも社会資源が不足(というか…)なので、そういった方々が集中していらっしゃるようです

伊丹市の方が半数、西宮市・尼崎市の方々に、半数、その他、宝塚市・川西市・猪名川町の方がいらっしゃいます



活動の内容

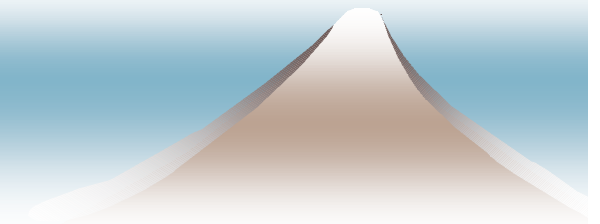
あまり内容は無いよう…と言うか、日中活動系のサービス体系は取ってませんので…

ただども、日中活動が保障されない方々や訪問(教育等も含めた)のみのサービスしか受けれていない方も日中、このいけスペースを利用されています

宿泊もやっています

昨年からは、お一人の方が、スペース内で暮らすこととなりました

ので(という訳でもないですが)、よりいっそう(あたりまえですが)年中無休的になりました



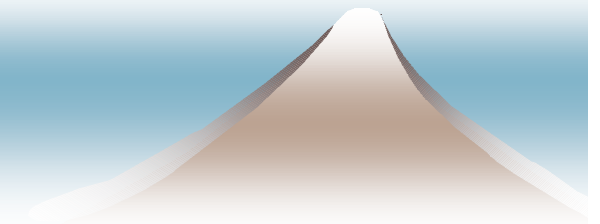
活動の内容2

スタッフ数は、私を含めて、常勤の支援スタッフが13名、常勤の事務員が2名
非常勤スタッフは約20名程で、がんばって(?)ます

いわゆる家庭の大黒柱といわれる方々も低賃金ながら働いています(常勤男性スタッフ7名中6名が既婚者…だからどうということのものでもないですが)
一応、お休みも、カレンダーどおりの週休二日でなんとかやりくり…

車両は6台程所有…
送迎等もそうですが、お出かけたとかにもフル活用

定期的なイベントや地域での催し等への参加、必然的に「医療的ケア」についての勉強・研修会等も行ってきました



総合的な・・・ …たぶん時間がなくなっている頃?

地域生活支援を総合的に実施するとあるのですが・・・なかなかできちゃあいません

とりあえず、なんでもやります(というか、やってきました・・・以前は何もなかった)
と言うか、当たり前ですが、制度のみでは「暮らし」は支えきれないので・・・
で、いろいろメニューも揃ってきた・・・のですが、、、。

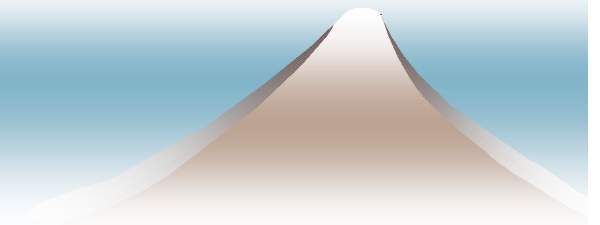
総合的って、どういうこと?

けっこう危ないように感じる、出来ていく制度・システム

例えば・・・

介護保険に準えていこうとしている(ように思える)自立支援法・・・

輪切りの支援、システムにはめ込む支援では・・・×



自立・社会参加って？

未だによくわかっていない、双方の言葉の持つ意味…

自立 = 働くこと?、一人で暮らすこと?

「働き(はたらき)」だとすれば、

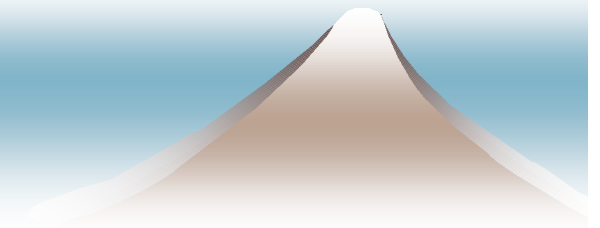
例えば重症心身障害といわれる方々たちの「はたらき」は、
たぶん間違いなく「ある」と言える

社会参加と言うことも、むしろ周囲(当事者にとっての周囲とは、私たち = 第三者のことだったり)が、交わって来い!だとか…

いずれにしても、

私たちが関わってきた方々に関しては、

「交わる」ことは可能だと言える



求められているもの

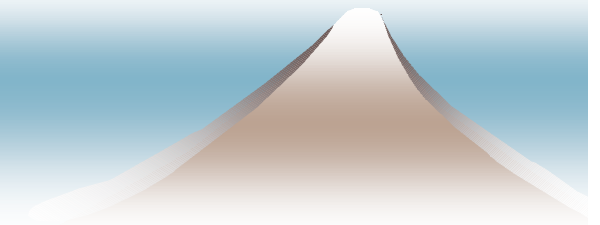
お金(財源)かな?・・・たぶん(笑・・・苦、、、)。。。。

とある(重心児の在宅ケアを支える)研修会で思ったこと・・・
「誰が?誰が?」で、どうなのか?

システム化されていく中での感覚

システム化が図りきれない「暮らし(生活)」の支援の在り方は・・・

答えは、まったく解らないので、とりあえずは、自らでやっていく・・・



追記・・・

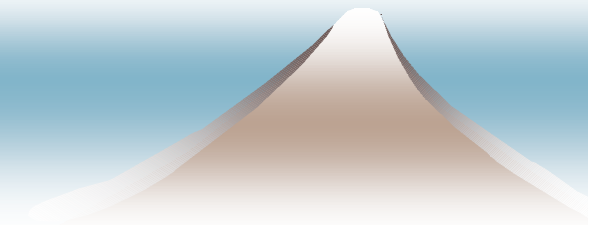
よく言われる「医療的ケア」について

- * 実際に支援サービスから漏れていく人たち
- * 支援者(と言われる方々)が、よく言う言葉・・・責任の所在
- * 必要なこと・・・法的な解釈?、制度?、研修

* おそらくあるにこしたことはない色々・・・

* あったとしても、それのみではなんともならない「暮らし」

* そして、なくても・・・、、 待たない時間 取り戻せない「今」(大袈裟・・・)



MEMO・・・

医療的ケア http://shoufukumemo.com/zenkoku/mc_what.htm

地域生活を考えよーかい <http://www.kangaeyo-kai.net/>



テングノオトシゴ

富士山が見える西伊豆の大瀬崎・湾内にて